

一般質問通告書

No. 1

上記の件について、下記のとおり質問したいので、会議規則第 62 条第 2 項の規定により通告します。

平成 27 年 5 月 28 日
東村山市議会議長 様

議席番号 9 番
質問者 渡辺 英子

記

番号	質問の項目と要旨
1	<p>地域活性化のインフラとしての「公園」のあり方を問う</p> <p>東村山市第 4 次総合計画の基本構想・前期基本計画 基本目標 3「みんなでつくる安全・安心とうるおいを実感できるまち」 施策大綱 3-1「人とまちにやさしい自然と生活環境を醸成する」 施策 3-1-3「公園の整備」(以下、施策 3-1-3 と略称)の整備状況について問う。</p> <p>(1)現状について問う</p> <p>1)東村山の一人当たりの公園面積及び目標値 2)市内の公園の種別、数、面積、設定が最も多かった年代 3)それぞれの種別の公園が持つ特徴</p> <p>(2)施策 3-1-3 に公園を「特性に合わせて整備、維持・管理を進めていく」とあるが、この整備状況について問う。</p> <p>1)「施策の方向性」に対する具体的な取り組み、課題 特に公園緑地ボランティア登録数の現状と取り組みについて 2)「近隣住民をはじめとした市民や事業者が、公園の整備に参加することができるしくみづくり」の進捗 3)平成 27 年 4 月 1 日、子供の声を騒音の数値規制の対象から除外した東京都の改正環境確保条例が施行されたが、これを受けて市の取り組みは？ 4)前期基本計画の期間である 2011 年から本年度までの公園整備、補修のための予算及びそれ以前との差額 5)ここでいう「特性にあわせた公園」とはどのようなものを想定しているのか？</p>

番号	質問の項目と要旨
	<p>(3) 市の限られた現有資産を活かし、魅力ある地域づくりを進めるために「公園」は重要なインフラであると考えます。</p> <p>施策 3-1-3 に定められた方向性を一歩進め、資産価値を活用するために、地域に点在する小規模公園を個々の点ではなく地域全体を面でとらえ、周辺の緑地、河川、遊歩道、農地などを包括した「スマートウェルネスシティ」として、機能を特化した公園を中心にストーリーと一貫性のある地域整備を進めていくことを提案する。</p> <p>以下の視点から見た公園の役割、現状、課題について問う。</p> <p>1)防災・減災の視点からの公園について 2)高齢者の健康づくり、医療費軽減の視点からの公園について 3)子育てするなら東村山の視点からの公園について(幼児、学童、青年) 4)働き盛り世代の体力づくりという視点からの公園について 5)地域コミュニケーションの場としての公園について</p> <p>(4) 市の重要な資産である「公園」は、人口構成が大きく変わった今、その役割の見直しが急務であると同時に魅力ある地域づくりのインフラとして期待できる要素が多い。</p> <p>少子高齢化における「公園」をどう活用していくか、市長としてのビジョンを伺いたい。</p>
2	<p>子ども達の命を守る通学路の安全について</p>
	<p>平成 24 年、痛ましい通学路での事故が全国で続発したことを受け、国をあげて通学路の総点検が行われた。東村山市でも緊急合同点検が行われ、対策が講じられたことは市のホームページでも確認できた。</p> <p>通学路の安全対策は一時的なものであってはならず、学校ごとに PTA による危険箇所の点検は毎年行われている。この対策状況、および市の通学路安全対策の姿勢を問う。</p>

番号	質問の項目と要旨
	<p>(1) 東村山市の通学路の認定要件、およびその満足状況について</p> <ul style="list-style-type: none">1) 通学路の認定要件を問う2) 認定要件を満足している通学路の割合を問う3) 満足できない箇所に共通している課題はあるか <p>(2) 平成24年の緊急合同点検のその後について問う</p> <ul style="list-style-type: none">1) 当時、確認された危険個所の数、危険内容2) 現在の対策状況、および今後の対策計画 <p>(3) PTAから毎年提出される危険個所の取り扱いについて</p> <ul style="list-style-type: none">1) 処理の手順について2) 実際に対策が実施される割合、実施されない場合の理由、課題 <p>(4) 東村山市における通学路の課題と今後の対策について総括的に伺う</p>